

令和2年3月3日

只見町議会議長 齋藤 邦夫 様

経済文教常任委員会

委員長 大塚 純一郎

経済文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

記

1. 所管事務調査事項

- (1) 地域産業の振興に関する調査
- (2) 生活環境の振興に関する調査
- (3) 教育の振興に関する調査
- (4) 観光施設、交流施設の設置目的の検証と利活用に関する調査
- (5) JR只見線と国道289号八十里越の開通を見据えた利活用に関する調査

2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 所管事務に関する調査
- (2) 調査方法 事務調査
- (3) 調査日 1月14日、2月3日、2月20日
- (4) 出席委員 大塚純一郎委員長、鈴木好行副委員長、目黒仁也委員、目黒道人委員、酒井右一委員

3. 調査結果及び意見

1月14日の委員会では、議会報告会において町民から出された様々な意見について、当委員会の所管事務についての当局対応を確認した。また、令和2年度の実施計画について各所管課から説明を受けたが、その中で国道289号八十里越道路の開通を見据えた様々な政策実現について、スピード感を持った対応の必要性を求めた。特に「道の駅」プロジェクトの対応の遅さについて、指摘している。

2月3日の委員会では、暖冬、少雪による除雪委託業者等の影響について、その状況等を調査した。県、町工事の入札等早めの対応を要望した。さらに、当委員会に付託を受けた「只見特産株式譲渡に関する陳情書」については、当委員会で採択し本会議で議決された案件であるが、当局の対応の遅さを指摘している。

以上